

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・各論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎201
担 当 教 員	林 了大	実務経験と その関連資格	接骨院の院長(柔道整復師)として、1999年～2014年勤務経験あり。 公益法人兵庫県柔道整復師会 阪神南支部の役員を2008年～2014年まで務めた。			
《授業科目における学習内容》						
各関節の解剖学的構造を理解した後に、各骨折の発生についてを学びます。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100% 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器 柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版						
《授業外における学習方法》						
講義の復習と次回講義の予習をすること						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師の業務範囲である骨折ですが、徒手整復の対象外となることの多い部位となります。 しかし、スポーツ現場等で発生することも想定されますので、発生機序や処置法についてはしっかり理解しておく必要があります。また、国家試験にも頻出の部分となりますので、国家試験対策も含めての演習も並行して実施していきますので、復習を怠らないようにして下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤の解剖学的特徴を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	骨盤の解剖学的特徴について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨骨折を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	骨盤骨骨折の発生機序について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療法と後療法について理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	骨盤骨骨折の治療法と後療法について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨の解剖学的特徴を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	大腿骨の解剖学的特徴について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	発生機序を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	大腿骨骨折の発生機序について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	整復法と固定法、後療法を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	大腿骨骨折の整復法と固定法、後療法について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節の構造を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	膝関節の構造について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝蓋骨骨折を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	膝蓋骨骨折の発生機序について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	整復法と固定法、後療法を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	膝蓋骨骨折の整復法と固定法、後療法について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨の解剖学的特徴を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨の解剖学的構造と特徴について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨近位端部骨折について理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨近位端部骨折について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨幹部骨折について理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨骨幹部骨折について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	遠位端部骨折および足関節脱臼について理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨遠位端部骨折および足関節脱臼について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度の確認	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ 理解度の確認をし、各項目ごとの発生機序から後療法までを理解できている	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版	後期講義の学生理解度を確認する
		各コマにおける授業予定	後期全講義の学生理解度を確認する		